会計年度任用職員（男女平等参画推進センター専門相談員）　筆記試験小論文原稿用紙

【設問】

下記は電話相談の事例です。あなたは専門相談員として、電話相談の中でどのように対応しますか。男女平等参画推進センター「女性のための総合相談」を行う専門相談員として必要な視点にも触れながら、対応方法を具体的に述べてください。

相談者Aさん（パート）43歳、夫（会社員）44歳、長男14歳（中2）

Aさんは「自分のことで相談してよいのか分からない」「こんなことはどこの家庭にもあるのかもしれない」と前置きして話し始めた。終始おどおどした口調であり、時々、声が途切れることがある。

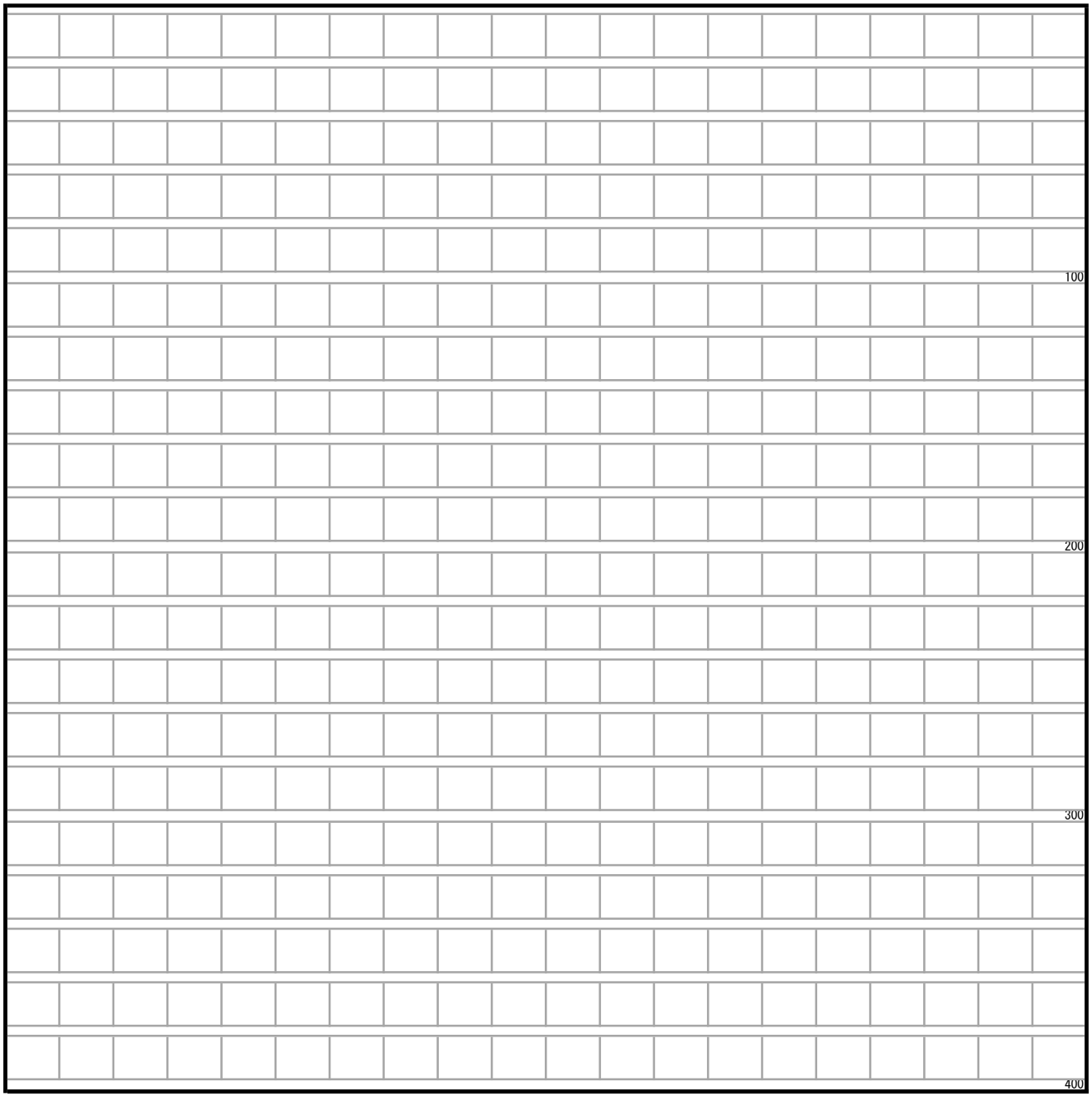
（Aさんの話）

夫は外では社交的で仕事も安定しており、近所や親族からの評判もよい。一方、家庭内ではAさんに対して日常的に「お前は本当に気が利かない」「何度言っても分からないのか」「稼ぎも少ないくせに偉そうにするな」「誰のおかげで暮らせていると思っている」などと言う。夫は物を壊したり、直接殴ったりすることはないが、Aさんが何か言い返そうとすると急に無言になって数日間口をきかなくなることもあり、その間、食事や家事のことだけを命令口調で伝えてくる。また、Aさんが友人と会う予定を立てると「そんな暇があるなら家のことをやれ」「母親のくせに息子を放っておいて遊ぶのか」と言われ、友人に会う回数は次第に減っていった。

最近では、自分の意見を言うことが怖くなり、夫の機嫌を損ねないことばかり考えるようになった。買い物一つでも「これを買ったら怒られないか」と不安になり、自分で判断することが難しくなっている。夜になると気分が落ち込み、「自分が悪いのではないか」と考えてしまう。

Aさんは、このことについて誰にも相談していない。夫は立派な人だと思われているし、自分の話をしても信じてもらえないかもしれないと考えているからである。

氏名（自著）



500

600

700

800

900

1000